

息抜きの散歩道 Vol.8

編集・発行/日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <http://lib.nit.ac.jp>

特集：レファレンスサービス

図書館の中の人には知っているけれど、学生をはじめとした利用者には耳なじみのない言葉「レファレンスサービス」。さて、どんなサービスなのでしょう。

「これからインフルエンザの注射に行きます。いやです。こわいです。」

これは国会図書館が提供する「レファレンス協同データベース」に掲載された事例です。小学2年生の児童の相談に対し、司書は、注射への恐怖心を軽くするような、絵本や児童書を紹介しました。



レファレンス協同データベース

図書館って、そんなことまでするの？と驚かれた方もいるかもしれません。ジャパンナレッジの『**図書館情報学用語辞典**』によると、レファレンスサービスとは「何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、図書館員が仲介的立場から、求められている情報あるいは資料を提供ないし提示することによって援助すること。(中略) 図書館利用者に対する利用案内(指導)と情報あるいは資料の提供との二つに大別される。」とあります。

LCセンターでも主に2階カウンターで受付しています。前号の特集「おしえて！LCセンター」には、PCの利用方法など4月に多い質問を掲載しましたが、実はこれ、レファレンスの「利用指導」にあたります。このように学生のみなさんは、日常的にレファレンスサービスを利用しているのです。

LCセンターには、文献、論文などの調査依頼も多く寄せられます。こちらは「情報および資料の提供」にあたります。



図書館情報学用語辞典 (ジャパンナレッジ)

答えられない質問もある！

さまざまな質問に、図書や雑誌、データベースを駆使して、回答するレファレンスですが、「**回答してはいけない**」質問があります。さて、次のうち、答えてはいけない質問はどれでしょう。

- ・医療相談
- ・クイズの解答
- ・宿題の答え
- ・人生相談

……答えは全部。宿題は自力で解くことが大切ですし、「風邪をすぐに治したい」場合は病院ですよね。ただし、「病気について調べたい」「クイズの例題を探している」でしたら、図書館の資料を基に回答できます。

レファレンスの情報源

調査に用いるツールとして、**図書、雑誌とデータベース**があります。2階には「参考図書」、いわゆる辞書・事典類があり、基本的な事項調査が可能です。データベースには、CiNiiや国会図書館のリサーチ・ナビのように誰でも使えるものと、JDreamⅢ、化学書資料館のように学内限定利用のものがああります。

それでは、みなさんにもレファレンスに挑戦していただきましょう。

質問1、日本には火山はいくつある？

(ヒント：理科年表をチェック)

質問2、PISAってなあに？

(ヒント：聞蔵Ⅱの知恵蔵を参照)

ヒント以外のツールを用いてもOK。ただし、「ググる」ことはNG。調査時は、引用元や記載者が明確な図書やデータベースを利用しましょう。

貸出ランキング

集計期間：2017年4月1日～2017年9月30日

- 1.『プロジェクトマネージャ合格教本 平成29年度』金子則彦/著 技術評論社/刊 (12回)
- 2.『初等オペレーションズ・リサーチ』小田中敏男, 正道寺勉/著 コロナ社/刊 (9回)
- 3.『ステップモータとマイコン制御』杉江俊治, 藤田政之/著 総合電子出版社/刊 (8回)

電車で、カフェで、ページをめくっているあの人は、どんな本を読んでいるのでしょうか？

250文字ブックレビュー

先生のオススメ本から、新たな扉、開いてみませんか。

『宇宙エレベーター その実現性を探る』 佐藤 実 /著 祥伝社 /刊

538.9

Sa 85

配架場所：6階

星空を見上げ、遠く彼方にある宇宙へ行ってみたいと思ったことはありませんか？宇宙への旅は費用が高く、超大金持ちでないとしても無理な話です。でも、手軽に宇宙旅行を実現する手段として、宇宙エレベーターが検討されています。10万メートルもの長いケーブルを地上と宇宙の間に渡し、乗り物で簡単に宇宙へ行くことができるというものです。こんなSFのような話が2050年頃の実現を目指して進められています。実現に向けた課題や宇宙開発の歴史などが平易に解説してあります。実際にこの構想に携わる人たちの話も興味深いです。

高瀬 浩史 (情報工学科)

『売れるデザインの発想法』 木全 賢 /著 SBクリエイティブ /刊

501.8

Ki 31

配架場所：5階

発想法に関する書籍は多くありますが、中小企業デザインコンサルタントである著者は平易な言葉とわかりやすい事例をあげながらすべての「開発者」に有用な発想のヒントを語ります。「色と形」だけを扱うことがデザインの作業ではなく、開発者の意図を使用者に伝える物語が重要と語る筆者は、商品デザインが生まれるまでの思考のプロセスを明らかにすることで「デザインがわからない」という心のバリアーを取り除き、アイデアを考えることを楽しめるようになります。発想法の本というよりも「発想法についての本」とでもいうべきでしょう。

大島 康彰 (機械工学科)

『カクレカククリ』 森 博嗣 /著 メディアファクトリー /刊

913.6

Mo 45

配架場所：8階

著者の森博嗣さんのミステリ小説では、デビュー作でTVドラマや漫画、アニメなどメディア展開もされている「すべてがFになる」から始まるシリーズが、よく知られています。「カクレカククリ」も森作品初のTVドラマ化されており、知っている、見たことがあるという人もいないのでしょうか。原作小説も非常に読みやすくなっていますので、今まで小説を読んだことがないという人にもオススメです。また、ドラマは見たことがあるけれど、原作は見たことがないという人は、違いを探してみるのも面白いかもしれません。

進藤 卓也 (電気電子工学科)

『AIは「心」を持てるのか 脳に近いアーキテクチャ』 ジョージ・ザルカダキス /著 日経BP社 /刊

007.1
Z 1

配架場所：3階

人間の意識について、哲学、進化論、脳科学、情報工学、量子論など極めて多方面から考察し、ロボットやAIの未来を展望した本です。AIとロボットについての技術面だけでなく、また最近はやりのロボットが仕事をうばうといった社会的・経済的な影響面だけでなく、様々な知見を得たい人向けの書籍です。最近の機械学習の進展より、さらに未来を見越した自我や意識を持ったAIについての展望です。著者は脳に近いアーキテクチャの進化が必要だと考えていますが、それについては異論を考えながら読んで欲しいです。

田村 仁 (創造システム工学科)

『死都日本』 石黒 耀 /著 講談社 /刊

913.6
I 73

配架場所：8階

広大なスケールと緻密な構成力に圧倒された。九州霧島山系が漏斗型カルデラ火山の大噴火をするとどうなるかという空想科学小説である。作者の地学に関する広範かつ深甚な知識に裏打ちされているので、明日にでも大噴火が起きるのではないかという恐怖にさえ駆られてしまう。九州は全土が火山帯であることを思い出した。日本列島が地学的な活動期に入ったと言われる昨今、このような小説を読むことで火山に対する理解を深めるのは有意義なことである。火山噴火を鍵にした古事記の解釈にも説得力がある。しかし行政の対応には現実感がない。

神林 靖 (情報工学科)

『20世紀を築いた構造家たち』 小澤 雄樹 /著 オーム社 /刊

524
O 97

配架場所
2階(指定図書) ↔ 6階

「建築家」は知っていると思いますが、「構造家」という専門家を知っていますか？ 様々な材料を組み合わせる建物を安全に構築する方法を考える構造の分野。建築技術が飛躍的に発展した20世紀において、この構造の可能性を信じて一時代を築いてきた「構造家」を紹介するのがこの1冊です。偉大な先人達が、どのような考えのもとに設計をしたのか、どのような生き様を歩いたのか、この本には構造家の「人間性」が詰まっています。どのような職業に就くか大いに悩むであろう大学4年間。さまざまな専門家を知り「憧れ」を持って下さい。

箕輪 健一 (建築学科)

『短篇コレクションI (池澤夏樹個人編集 世界文学全集 第3集)』 池澤 夏樹 /編 河出書房新社 /刊

908
Ta 89
1

配架場所：8階

メディアを通して世界情勢を知った気でも紛争のニュースは遠い国の出来事ではなく、旅をするにも時間とお金がかかる。でも小説を読めば能書きなしで世界中の面白い部分を体験できる。「名作」だけ集めた従来の文学全集に一石を投じる本書のセレクションは、パレスチナ、韓国、カナダから沖縄の作品まで幅広い。美しい水を恋人にした男の話や、理由なく殺される弱者の押し殺した嘆き。教科書に載らない彼らの小さな声は、しなやかで力強い肉声となって読者に語りかける。この一冊で、ニュースとは違う世界のリアルを体験してほしい。

山中 章子 (共通教育系)

第9回ライブラリーカフェ開催

2017年7月7日 於 オープンスペース

本学の先生を講師にお迎えし、コーヒーを片手に気軽な雰囲気、研究の話題やご自身のことなどを語っていただく催しがライブラリーカフェです。今回は「映像はスクリーンを飛び出す&日工大CMの秘密」と題し、情報工学科の大山麻里先生を講師にお迎えし、初公開のCM上映や撮影の裏話などをお話いただきました。

学生からは「普段あまり見ることの無い映像の仕事の裏側を見ることができて、有意義だった」などの声が寄せられました。



LCセンター蔵書点検

2017年8月29日～9月8日

LCセンターには約18万冊の図書が配架されていますが、年に一度、全図書の点検を行っています。また、普段はできない大規模な書架移動や館内点検も行っています。

図書現物とデータの照合を行うため、作業中は貸出中止、図書館への立入制限等を実施しました。ご協力ありがとうございました。



蔵書点検の作業風景

ライブラリーサポーターを募集しています

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いしてくださる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募お待ちしております。

応募資格: 本学に在籍する学部生・院生（学科・学年不問）無償ボランティアでの活動となります。

活動期間: 年度単位。月1回程度のミーティング
イベントや作業中はその都度集まります。

活動内容: ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営
LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

応募方法: LCセンターにて配布の応募用紙を2Fカウンターに提出



ライブラリーカフェ受付



選書ツアー



青塔秋号を発行しました。

秋号は、大学生活や研究テーマ、趣味などを、新任の先生方を中心にご寄稿いただきました。LCセンター内で配布しています。ご自由にお持ちください。リポジトリでも公開中です。

LCセンター2階特集展示

9/21～10/21 「ごみ問題から環境問題を考える」
ゴミ問題を中心にISO図書を紹介。

10/23～11/18 「先生と先輩がすすめる本」
250文字ブックレビューの紹介図書、選書ツアー図書の展示。

開館カレンダー

10月 October						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月 November						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月 December						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2018年 1月 January						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

通常開館日	9:00-20:30	休館日	日曜・祝祭日・本学休業日	短縮開館日	9:00-17:00	午後開館日	13:00-17:00
-------	------------	-----	--------------	-------	------------	-------	-------------